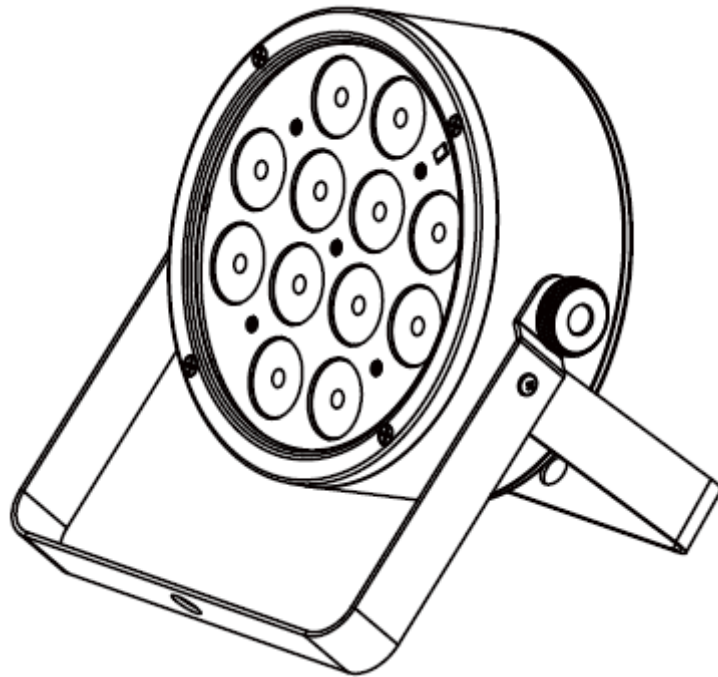


NITEC
powered by EK

LITEPAR T12

取扱説明書 Ver1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

はじめに	3
基本仕様	3
製品仕様	3
安全上の注意	4
各部の名称	5
基本操作	6
動作モード	7
DMX チャート	9
IR6 赤外線リモコンによるコントロール	11
資料	12
メンテナンス	13
故障かな?と思ったら	13

はじめに

この度は NiTEC LiteParT12 をご購入いただき誠にありがとうございます。LiteParT12 は、光源に 3W RGB LED を搭載した LED パーライトです。

本製品の性能を最大限に発揮させ、安全に、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- 12×3W、RGB LED 搭載
- 頑丈なアルミ・ダイキャスト・ボディ採用
- カラーミキシングとディマーは本体のプッシュボタンによりコントロール可能
- サウンド・アクティブモード、マスター／スレーブモード、オートプログラムモード対応
- フリッカーフリー対応

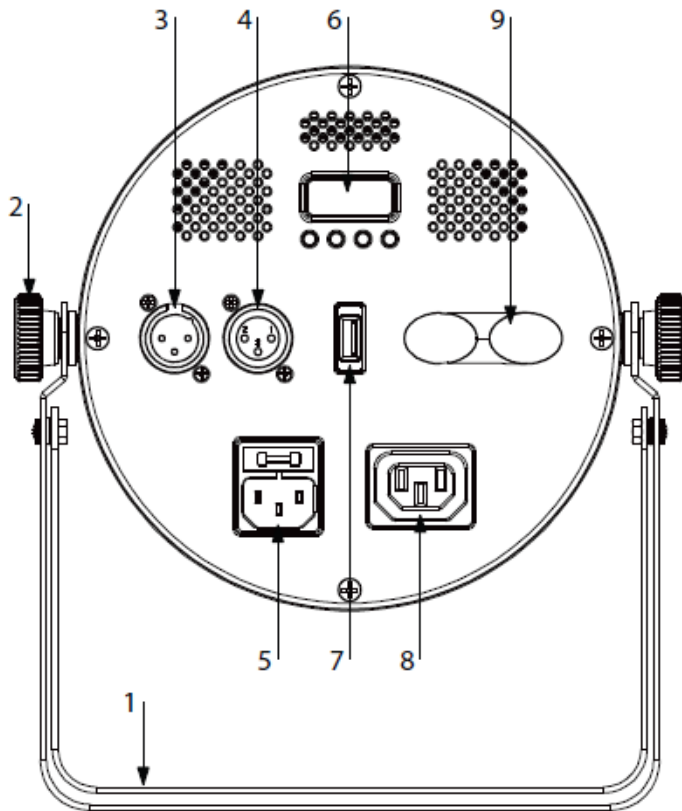
製品仕様

モデル	LiteParT12
LED	12×3W、RGB 高輝度 LED
ビーム角度	15 度
フィールド角度	30 度
カラー	RGB カラーミキシング
輝度	428 lux @ 2m
ストロボ	0-30 Hz
PWM 周波数オプション	600kHz フリッカーフリー対応
ディマー	0-100%、4 種類のディマーカーブを搭載
コントロールモード	DMX、オートプログラム、サウンドアクティブ、マスター／スレーブ
DMX チャンネル数	3/8 チャンネルモード
ディスプレイ	4 桁 LED ディスプレイ
電源	AC100V 50/60Hz。
消費電力	38W
ボディ	アルミ・ダイキャスト
仕上げ	ブラック
重量	1.8 kg
寸法	252 × 227 × 84 mm

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
4. 本製品を他の機材と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
5. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
6. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 本体カバーを外さないでください。
9. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
10. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
11. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
12. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
13. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
14. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
15. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
16. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
17. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

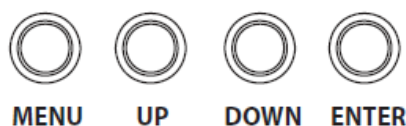
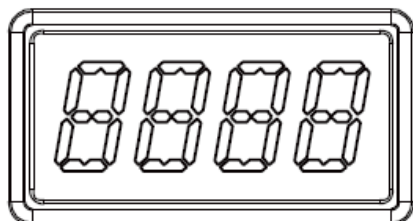
各部の名称



1. マウント・ブラケット
2. ロッキング・ノブ
3. DMX IN(3ピン XLR)
1= グランド、2 = DMX-、3=DMX+
4. DMX OUT(3ピン XLR)
1= グランド、2 = DMX-、3=DMX+
5. 電源入力コネクタ、ヒューズホルダー
6. コントロールパネル: 有機 EL ディスプレイ+操作ボタン(MENU/UP/DOWN/ENTER)
7. USB コネクタ
8. セーフティリング: 別売りセーフティケーブルを取付け

基本操作

ディスプレイ下にある4つのボタンで操作します。



MENU ボタン	UP ボタン	DOWN ボタン	ENTER ボタン
<ul style="list-style-type: none"> メニューを表示する 前の画面に戻る 	<ul style="list-style-type: none"> メニューリストを上移動 数値を増加 	<ul style="list-style-type: none"> メニューリストを下移動 数値を減少 	<ul style="list-style-type: none"> 決定、保存、確認、選択

【 ファンクションメニュー 】

1	DMX スタートアドレス	3CH→d1-d512 8CH→d1-d512	DMX スタートアドレスを選択
2	スタティックカラー	C...→C1-C7	スタティックカラーを選択
3	オートプログラム	P...→P1-P4	オートプログラムを選択
4	オートプログラム 速度	S...→S1-S100	オートプログラムの速度を設定(遅い-速い)
5	サウンドアクティブ	Snd→Snd1-Snd2	サウンドアクティブモードを選択
6	サウンド感度	SenS→u0-u100	サウンド感度を設定(低い-高い)
7	カラーミキシング	U...→r0-r255	赤(0-100%)
		U...→g0-g255	緑(0-100%)
		U...→b0-b255	青(0-100%)
8	ディマー	dIM→OFF	ディマーカーブ オフ
		→dIM1	ディマースピード(速い)
		→dIM2	ディマースピード(中程度)
		→dIM3	ディマースピード(遅い)
9	赤外線リモコン	SET→ON →OFF	赤外線リモコン、オン/オフ

動作モード

LiteParT12 には、以下の動作モードがあります。

オートモード	: 内蔵のプログラムで動作します。
スタティックカラーモード	: 63 種類のカラーマクロのうち 1 つを再生します。
サウンドアクティブモード	: 内蔵マイクで感知した音に反応して、本体のプログラムが動作します。
マニュアルカラーモード	: マニュアルでカラーミキシングを行います。
DMX モード	: DMX コントローラー等で灯体を制御するモードです。
マスター／スレーブモード	: 複数の灯体を使用する際、マスターユニットとした 1 台にスレーブユニットを同期させて動作させます。

【 オートモード 】

1. ディスプレイに「P・・・」と表示されるまで、「MENU」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使い「P1」から「P4」までの任意のプログラムを選択します。
3. 「ENTER」ボタンを押します。
4. ディスプレイに「S・・・」と表示されるまで、「MENU」ボタンを押します。
5. 「UP」「DOWN」ボタンを使い、「S000」から「S100」までの任意のスピードを選択します。
6. 「ENTER」ボタンを押します。
* P5 と P6 はサウンドアクティブプログラムです。

【 スタティックカラーモード 】

1. ディスプレイに「C・・・」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使い、「C1」から「C7」を選択します。
4. 「ENTER」ボタンを押します。

【 サウンドアクティブ・モード 】

1. ディスプレイに「Snd」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使い「Snd1」、または「Snd2」を選択します。
3. 「ENTER」ボタンを押します。
4. ディスプレイに「Sens」と表示されるまで、「MENU」ボタンを押します。
5. 「UP」「DOWN」ボタンを使い、「u000」から「u100」までの任意のスピードを選択します。
6. 「ENTER」ボタンを押します。「ENTER」ボタンを押します。

【 マニュアルカラー・モード 】

1. ディスプレイに「U・・・」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使い「r」「g」「b」から設定する色を選択します。
4. 「ENTER」ボタンを押します。
5. 「UP」「DOWN」ボタンを押して、任意の色(000-255)を設定します。
6. 「ENTER」ボタンを押します。

【 デイマー・モード 】

1. ディスプレイに「dim」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使い「OFF」「dim1」「dim2」「dim3」からデイマー速度を選択します。
4. 「ENTER」ボタンを押します。

【 マスター／スレーブモード 】

複数の灯体を使用する際、マスターユニットとした1台にスレーブユニットを同期させて動作させます。マスターユニットは単体でコントロールパネルから、またはIR6赤外線リモコンにより操作可能です。子機は全てスレーブモードに設定します。

注意: 全てのスレーブユニットはマスターユニットに繋ぐ前に、スレーブユニットに設定しておく必要があります。

スレーブユニットの設定

1. ディスプレイに「3-CH」、または「8-CH」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使いDMXアドレスを「d1」に設定します。

マスターユニットへの接続

設定済みのスレーブユニットをマスターユニットに直列に接続していきます。

【 DMXモード 】

1. ディスプレイに「3-CH」、または「8-CH」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを押して、任意のスタートアドレス(001-512)を設定します。
4. 「ENTER」ボタンを押します。

DMX チャート

3 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	赤 0-100%
2	000 - 255	緑 0-100%
3	000 - 255	青 0-100%

8 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	赤 0-100%
2	000 - 255	緑 0-100%
3	000 - 255	青 0-100%
4	000 - 015 016 - 255	カラー 機能無し カラーマクロ
5	000 - 015	ストロボ 機能無し
	016 - 255	ストロボ(遅い-速い)
	000 - 255	プログラムスピード(遅い-速い)
	000 - 010 011 - 255	サウンドアクティブモード オフ サウンド感度
6	000 - 031	プログラム 機能無し
	032 - 063	0-100%
	064 - 095	100%-0
	096 - 27	100%-0-100%
	128 - 159	カラーフェード
	160 - 191	3 カラーشناップ
	192 - 223	7 カラーشناップ
	224 - 255	サウンドコントロール
7	000 - 255	ディマー 0-100%
8	000-051	ディスプレイから設定した値
	052-101	ディマーカーブ・オフ
	102-152	ディマースピード 1(速い)

153-203	ディマースピード 2(中程度)
204-255	ディマースピード 3(遅い)

IR6 赤外線リモコンによるコントロール

【 IR6 赤外線リモコン 】

1. ディスプレイに「SET」と表示されるまで「MENU」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを押して、「On」、「Off」を選択します。
4. 「ENTER」ボタンを押します。

【 オートモード 】

1. 「AUTO」ボタンを押します。
2. 「+」「-」ボタンを使い「P1」から「P4」までの任意のプログラムを選択します。
3. 「SPEED」ボタンを押します。
4. 「%」ボタンを押します。
5. 「+」「-」ボタンを使いプログラムスピードを選択します。
「FADE」ボタンを使いオートプログラムをフェードアウトします。

【 サウンドアクティブ・モード 】

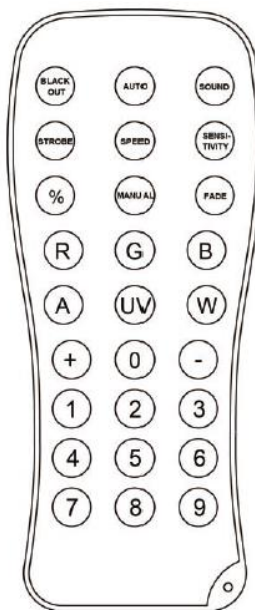
1. 「SOUND」ボタンを押します。
2. 「+」「-」ボタンを使い「Snd1」、または「Snd2」を選択します。
3. 「SENSITIVITY」ボタンを押します。
4. 「%」ボタンを押します。
5. 「+」「-」ボタンを使いサウンド感度を選択します。

【 マニュアルカラー・モード 】

1. 「MANUAL」ボタンを押します。
2. 「0」-「9」ボタンを使い、変更する色を選択します。
3. 「MANUAL」ボタンを押します。
4. 「R」「G」「B」ボタンのいずれかを押して、「+」「-」ボタンを使い、色の調整をします。

【 ストロボ 】

1. 「STROBE」ボタンを押します。
2. 「+」「-」ボタンを使いstroboの周期を設定します。

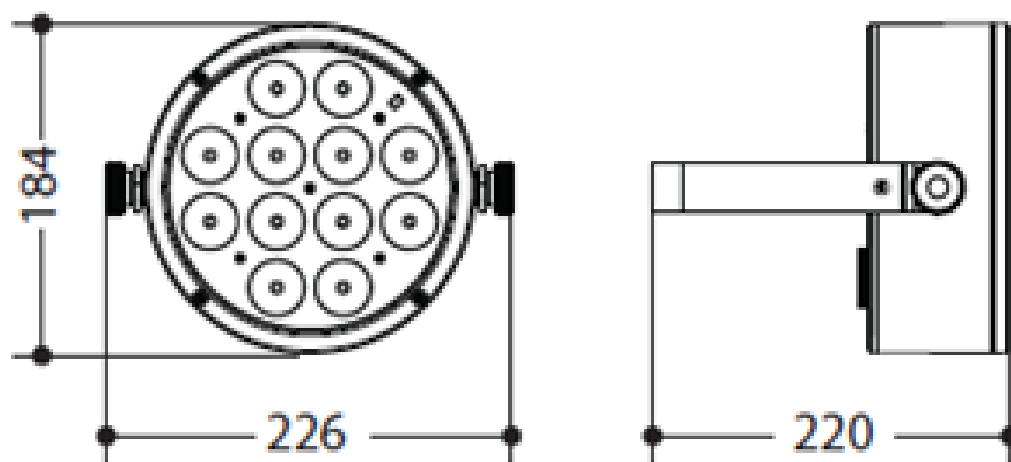


【 ブラックアウト 】

1. 「BLACKOUT」ボタンを押して灯体をブラックアウトします。
2. 「BLACKOUT」ボタンをもう一度押すとブラックアウトを解除します。

注意: リモコンが反応しない場合、「BLACKOUT」ボタンを押してブラックアウトモードを解除してみてください。

資料



メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、やわらかい布でケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで 20 日に 1 度を目安にクリーニングしてください。
3. クリーニング後、電源を入れる前には、本体が完全に乾いていることを確認してください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、下記をご確認ください。

症状	確認事項
点灯しない	・電源ケーブルが、正しく接続されているか確認してください。 ・ディマーが絞られていないか確認してください。
暗い	・レンズを清掃してみてください。
電源が入らない	・電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ヒューズが切れていないか確認してください。
DMX で動作しない	・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・スタートアドレスが正しく設定されているか確認してください。

上記の方法でも症状が改善されない場合、また、その他の不具合が確認された場合は、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

